

テーマ15：「『修学旅行改革』～観光旅行から体験型職業旅行」

石崎隆（小出特別支援学校川西分校）

旅費 144,500 円の赤字! 出張・現場実習巡回旅費が不足する!

支給：72,000 円×6 人+36,000 円（現地交通費）=468,000 円

H27 普通 1+重複 1=2 学級実施

引率職員 7：教頭 1、養教 1、担任 3、級外 2

北海道に行くとするとうなるか。

80,000 円×7 人+下見 52,500 円=612,500 円（▲144,500）

東京・横浜ならば、通常旅費からの持ち出し 0 円

小；県内→中：東京→高：北海道？（親の思い）

- ・行ったことのない場所に行かせたい。
- ・一度は飛行機に乗せてやりたい。
- ・親が連れて行けない場所に行かせたい。
- ・初めての場所で驚き、楽しんで欲しい。

その場限りの1回のみ？「観光旅行？」

△初めて乗る飛行機で、怖くないの？ △移動に多く時間が必要？

修学旅行：学校主体の行事である。→日常学習を検証する修学旅行でありたい。

- 生徒が自分の力（不足する力）に気付く修学旅行（ライフスキル）
- 自分を振り返り、努力しなければならない意識の向上となる修学旅行（職業意識）
- 卒業後も個人、家族、友達で再現可能な修学旅行（自分の給料で、また行きたい。）

これが「職業教育型修学旅行」です。

修学旅行（ワークショップ体験）



- ・フロント：接客学習の応用、宿泊カード記入
- ・ベッドメイキング：職業技能（介護）先取り
- ・レストラン：衛生管理、配膳のルール

修学旅行（班別自主研修）

- ・公共交通機関を利用
- ・自分の行きたい目的地へ、仲間と協力して
- ・十日町にない施設を体験する



修学旅行（東京・横浜を見る）

- ・国会議事堂、日比谷公園
- ・歌舞伎座、銀座時計台
- ・高層マンション、ベイブリッジ



修学旅行（異文化を体験する）

- ・横浜中華街
- 食文化の違い、建物の違い、言語の違い
- ・違いを体験することで、ふるさとを知る。



予想される親の反応

- ・なぜ、昨年がよかったのに変更なの？
- ・家族で行ったことある所じゃない？
- ・中学部と同じ場所じゃないの？
- ・新鮮味がない、つまらない。

×どこに行きたいか→○学びが実現できる場所を選ぶ。

<コンセプト>の確立

- 1 働くことに改めて気付く機会とする。（自分の働き方を見直す）
- 2 生徒が卒業後の生活を考える、役に立つ機会とする。

変更までの道のり

運営委員会+担当学年でのコンセプトの話し合い（2回）

↓
校長指導+職員会議での意見集約と協議（2回）

↓
<学校側の共通理解の確立>

↓
PTA 会長への説明（教頭）（1回）

↓
実施学年の保護者会

↓
学年便りにて保護者意見を紹介

↓
保護者の不安意見に対して個別に丁寧な説明（教頭+担任）

重要1 校内でのコンセプトの共有

重要2 卒業後に生きる学びを！検討と共有